



# 大切な水

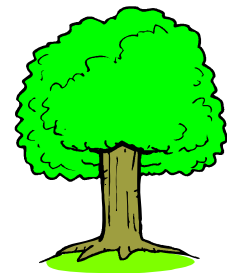
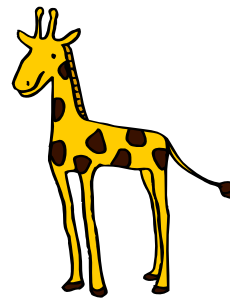
水道のじゃ口をひねると、きれいな水が出てきます。

この水のことを考えてみましょう。

わたしたちは食事をしたり、お風呂に入ったりして毎日たくさんの水を使っています。

水は、わたしたちの生活にはなくてはならないものです。

また、動物や植物にとっても、水はかせないものです。



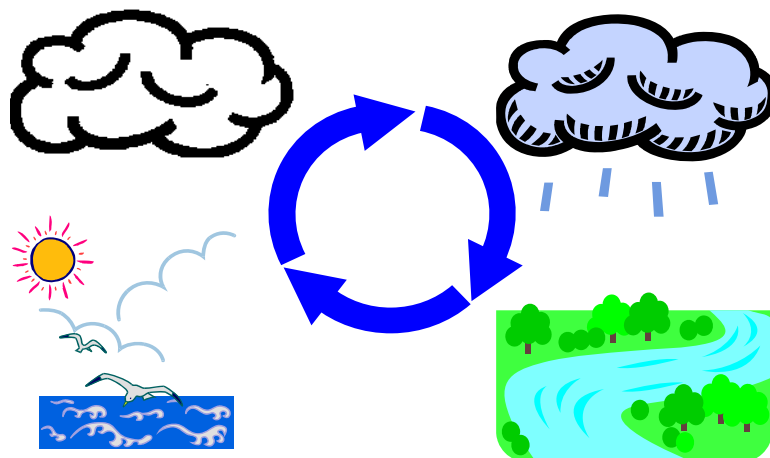
水はどこから来て、どこへ行くのでしょうか？

雨がふるとその水は川へ流れ、やがて海へと注がれます。

海の水は、太陽に熱せられ、水じょう気となって空に上り、雲となります。

雲は空で冷やされ、地上に雨をふらせませす。

こうして、水はすがたを変えながら、わたしたちのまわりをまわっています。



わたしたちが水を使うということは、実は、水をよごしていることになるのです。

どういうことでしょうか？

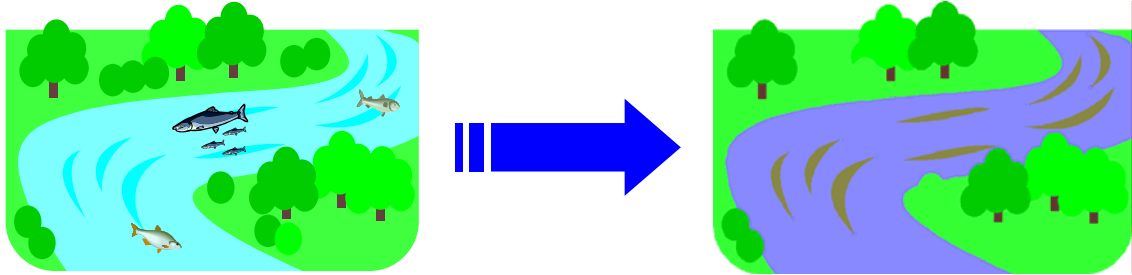
# 川がよごれている！



昔は近くの川でも水がすきとおっていて、いろんな魚が泳いでいました。

しかし、今は水がにごったり、いやなおいがしたりする川もあります。

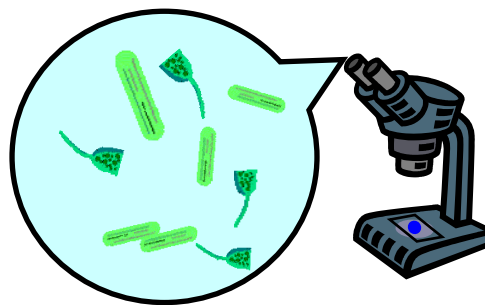
どうして、こんなに川がよごれてしまったのでしょうか？



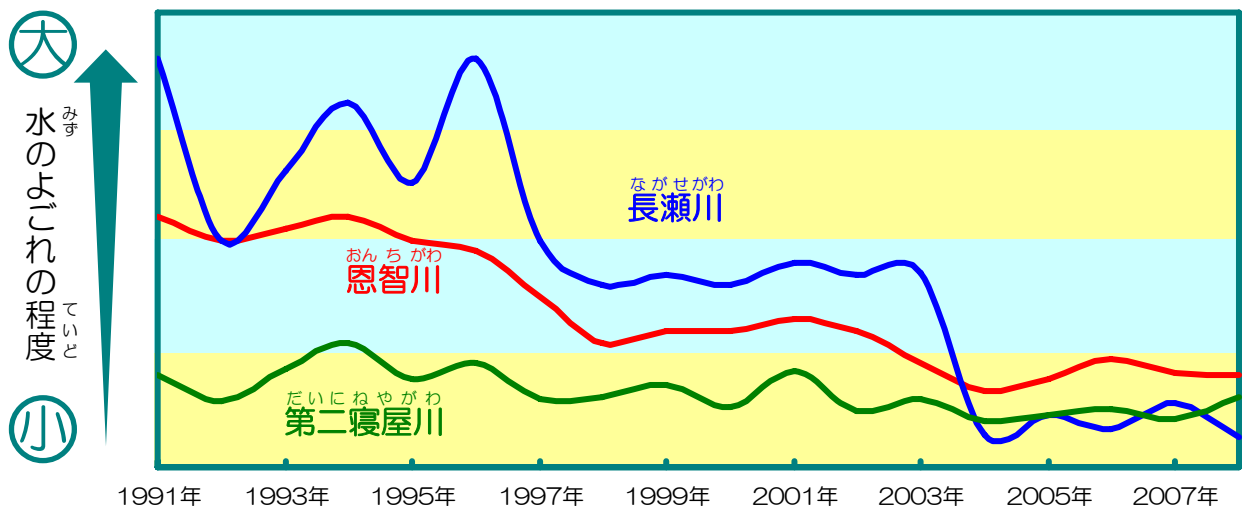
川には、目に見えない小さな小さな生き物がたくさん住んでいます。

これらの生き物が、川の中のよごれを食べてくれるので、川はきれいになります。

しかし、よごれがひどすぎると、食べきれなくなり、やがて川はにごってしまいます。



東大阪を流れる3つの川（長瀬川、恩智川、第二寝屋川）のよごれは下のグラフのようになっています。

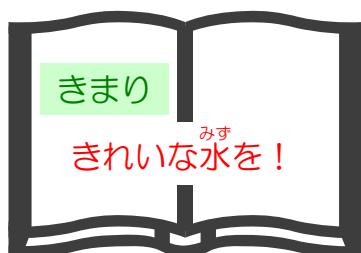




# 水をきれいにするために

水をきれいにするために、市役所ではいろいろなことに取り組んでいます。  
いくつかみてみましょう。

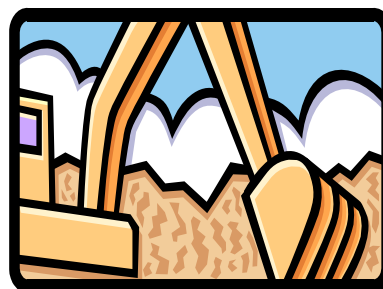
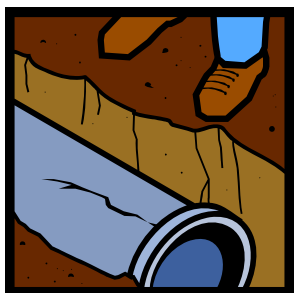
- ① 「水をよごすものをたくさん出さないようにしましょう」というきまりをつかって、工場の人をお願いしています。



- ② 家庭からよごれた水を出さないためには、どうすれば良いかを勉強したり、家で試したりする人をふやしています。



- ③ 工場や家庭から出るよごれた水を川に流さないために、下水道をつくっています。



# わたしたちもチャレンジ！



きれいな水を守るために、わたしたちもいろんなことにチャレンジしてみましょう！

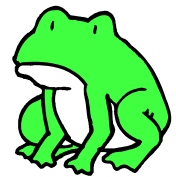
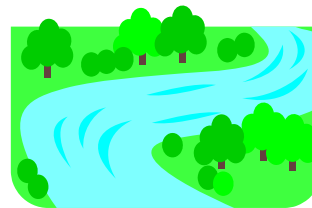
ただし、チャレンジするには、3つの約束を守りましょう。

- ①あぶないところには行かない！
- ②川に行くときは、先生やおうちの人などといっしょに行く！
- ③無理はしないで、できることから始める！



わたしたちの近くにある川をしらべてみよう！

- ①水の色やにおい、にごりはどうですか。
- ②川のまわりはどんな様子ですか。
- ③川の中にごみがありますか。
- ④川にはどんな生き物がいますか。



家庭から流れ出たよごれのもとが川をよごしたとき、魚が住める水にするには、たくさんのお水が必要です。

出典 『平成19年版 環境白書』

汚れのもと	魚が住める水質にするには	汚れのもと	魚が住める水質にするには
マヨネーズ (大きじ1杯)	お風呂 (300ℓ) 13杯	天ぷら油 (20ml)	お風呂 (300ℓ) 20杯
牛乳 (コップ1杯)	お風呂 (300ℓ) 11杯	みそ汁 (お椀1杯)	お風呂 (300ℓ) 4.7杯

水をむだにしないためには、どんな工夫ができるでしょうか？

- ①水道の水を出したままにせず、きちんとしめる。
- ②歯みがきをするときは、水をコップにくんでおく。
- ③バケツにくんだ水で車を洗う。

